

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		あさごふれ愛の郷 YOU・愛センター		公表日		令和 8年 2月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		ホールや個室等スペースは十分あり、活動内容や個々の状況に応じて使い分けしている。	室内が広く開放感があり、利用者も活発に行動されるため、怪我等、安全面で細心の見守りが必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		日々の利用者の状態に応じてマンツーマンでの対応であったり、基準以上の配置をしている。	職員の高齢化が顕著である（法人全体）。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関扉の少しの段差（レール）以外はバリアフリー化しており、わかりやすい環境整備を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃、消毒を適切に行っている。広いホールではからだを動かす活動ができ、静かに落ち着いて過ごせる個別スペースも確保できている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		ルールを伝え、必要に応じて使用できるようにしている。	活動場所が分散する場合は、職員配置によっては希望に添えない時があるが、可能な限り工夫し使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員が参加できる職員ミーティングで可能な限り行っている。	職員の勤務形態により全員参加できる日が少なく、広く参画できていない。（特に週1回勤務の職員等）	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングを行い、必要に応じて業務改善に努めている。またご意見など伺った時にもその都度早急な対応を心がけている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングで気づきや意見を話し合う時間を設け、必要に応じて業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の機会は設けているが十分に確保しているとは言えない。	研修を受講する機会があったが特定の職員のみだったため、均等に受講できる機会の確保に努める。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している。	文書や契約時にお伝えしているが、周知できていない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		適切に作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々のミーティング等で情報共有し、支援会議の場で職員間で検討している。不在の職員は後日記録を確認するようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報共有を図るとともに、支援の変更が生じた場合もミーティングや紙面で早急に共有できるようにしている。	勤務形態がそれぞれ違い、共有が難しい面もあるため、支援開始前のミーティングの充実や、記録等に目を通す時間を確保したい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々活動記録を記入し、それをもとにケース記録を作成している。またモニタリングや担当者会議など適正に使用し確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域に沿った分かりやすい課題設定を心がけている。	「地域支援・地域連携」の内容については充実していないため、今後の検討課題とする。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		季節の行事に合わせた製作、大小イベントの計画、日々のレクの内容など、行っている。	立案する職員に偏りがあり、チームで行っていない。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々、個別・集団活動を実施し、固定化しないよう工夫している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		行っている。	集団活動に参加できない利用者もあり、内容に工夫が必要。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		短時間でも可能な限り行っている。	休日などはその時間が取れず、個別に情報共有を行うため、支障が出る時がある。記録等で確認する時間の確保に努める。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	個別活動記録を日々記入し、共有できるようにしている。全職員でその日の振り返りは時間的に難しいので、翌日のミーティングで実施してる。	職員全員がそろう日が少なく、全てを共有するのは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	個別活動記録を日々記入し、連絡ノートも含め家族や関係機関とのやり取りを基にケース記録を作成し、振り返り、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。		○	日々の活動の中で組み合わせて行っている。	地域交流の活動の提供は今年度もできなかった。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		○	スケジュール決定や日々のおやつ選択など、小さな自己決定の積み重ねを支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	児童発達支援管理責任者が、支援に携わっている職員に聞き取りを行った上で参加している。可能な場合支援員も一緒に参加してる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	必要に応じて行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	必要に応じて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	今年度は2名の新規利用者に対してこども園を訪問、また相談員を通じて児童発達支援事業所との情報共有も行っている。	今後も必要に応じて充実を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	行っている。今年度は年金手続きの際の情報提供も行った。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	実施していない。	今後必要に応じて検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	今年度市から要請があり、こども部会に出席、活動している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	連絡ノートや送迎時、電話、ライン等で行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	実施していない。	今後必要に応じて検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約時、内容変更時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	面談や送迎時に意向を伺っている。	利用者の意向が反映できるよう努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○	実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	相談があった場合は対面で応じたり、連絡ノートや電話、ライン等で行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	実施していない。	必要に応じて検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	法人も含め対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	行っているが昨年同様発信機会は増やすことができなかった。	今後充実を図る。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	契約時に同意書を交わし、写真掲載等を付けている。個人ファイルは施錠できる書庫に保管している。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	視覚支援等個別に対応している。家族には必要に応じて口頭ではなく、文書やライン等でお伝えしている。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	コロナ禍以降実施できていない。	調整が困難。必要に応じて検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	日々の支援の中で訓練を想定した活動で行っている。	今年度より契約時に提示し説明しているが、周知できていない。面談時にも提示し目に触れる機会を増やす。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	定期的には行っていない。	今後充実を図る。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	契約時のアセスメント作成において聞き取りを行い、必要に応じて個別の緊急対応マニュアルを作成、面談等で定期的に修正している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	家族からの情報や処方箋の提供のみ。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画は作成していない。今後必要に応じて法人内で検討していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画は作成していない。今後必要に応じて法人内で検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	その都度報告書を作成し、ミーティング等で振り返りや事故防止に向けて話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	法人内で虐待防止委員会を2か月に1回開催し、講師を招く等全職員に研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	委員会で必要に応じて検討している。また適切に記載している。	今後も慎重に対応していく。	